

subject 課題 労働力不足を背景に 荷役作業の無人化、自動化を目指す

ドライバー、フォークリフトオペレーターをはじめ、労働力不足は今後ますます深刻になります。現場レベルでも、現状や環境に応じた対策を考えることが求められていました。



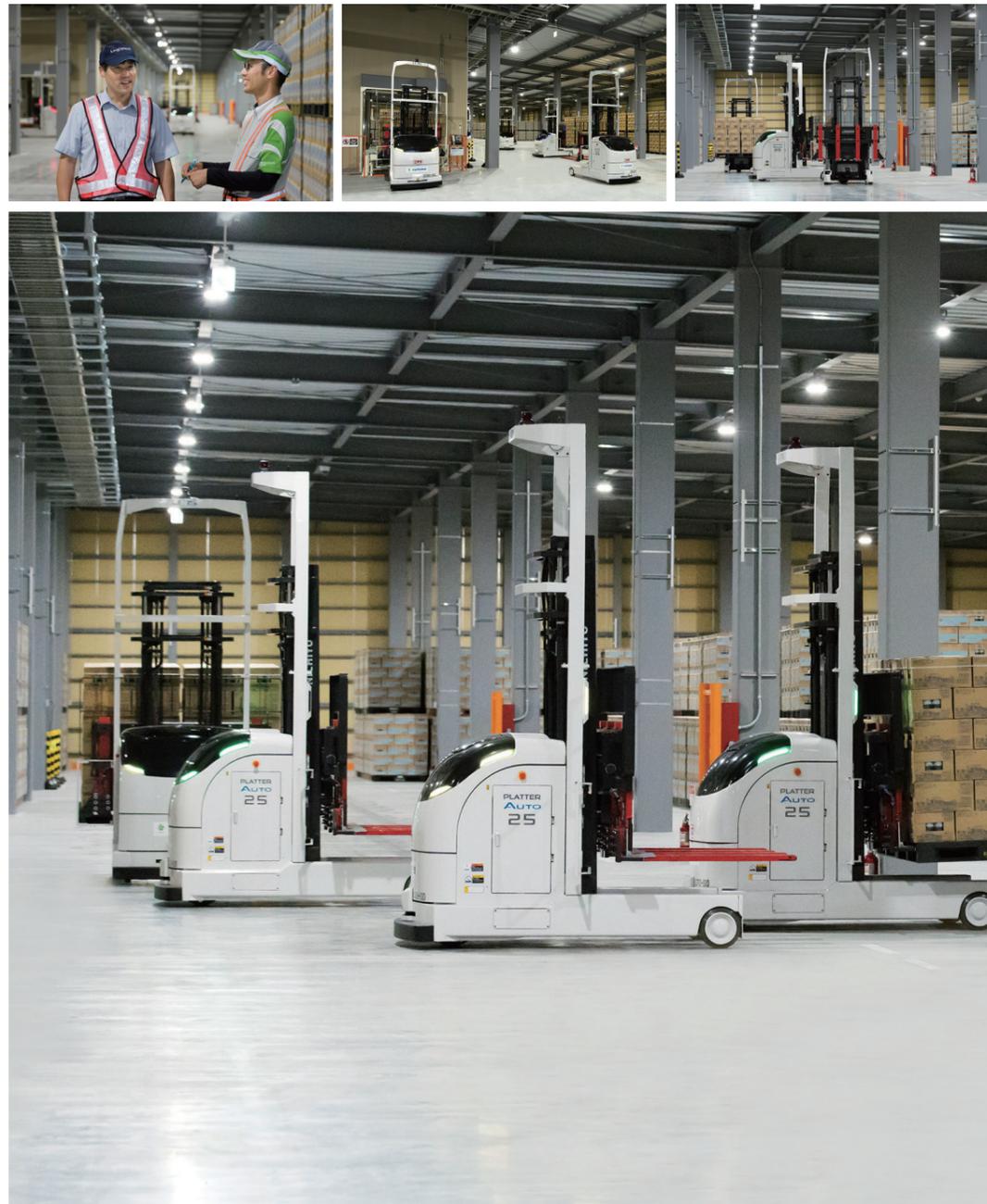
solution 改善策 AGF導入にあたり シミュレーションをして検討

機能性、操作性を評価してAGF導入を検討。倉庫のフロア全体の無人化は初めてのため、さまざまな状況をシミュレーションして費用対効果をチェック。最適な導入台数で効率的に運用できるようにシステムを構築しました。



result 効果 繁忙期と閑散期に応じた 効率的な無人運用が実現

臨機応変に人がAGFの作業内容を変更できるシステムにしたことで繁忙期は一番近いロケーションからパレットを出させるなど、通常時とは異なる動きをAGFに指示できるようになったため、作業効率が向上し、ピーク時も増員せずに対応できるようになりました。



レーザー誘導方式無人フォークリフトで
フロア全体の無人化を実現
物流ピーク時の増員も不要に！

今回、6台のレーザー誘導方式無人フォークリフト「プラッターオート」の導入により、鴻池運輸株式会社さまの各事業所内の倉庫で初めてフロア全体が無人化されました。その導入を推進しご尽力された片岡さまにお話を伺いました。

レーザー誘導方式無人フォークリフト
「プラッターオート」

DESIGN 1

大手飲料メーカー専用の
保管・配送拠点



鴻池運輸株式会社
安曇野営業所 第2倉庫さま
所在地 長野県安曇野市穂高牧1110

1880年創業の鴻池運輸株式会社は、国内外に200を超える拠点を持つ総合物流企業。一般物流だけでなく、鉄鋼、エンジニアリング、食品関連などの生産ラインの運営、国際物流サービスや、近年では医療機関向けの物流サービスや医療機器の保守・管理、空港での地上支援業務などを展開している。安曇野営業所は、大手飲料メーカーで製造される製品の専用保管・配送拠点となっている。

動画でCHECK!
導入事例映像はこちら



CLICK

※AGF=Automated Guided Forklift

効率的な無人運用で
繁忙期の荷役作業が
スピードアップ

お話を伺った方

東日本支店安曇野営業所
所長
かたおか ゆうき
片岡 勇貴さま



安曇野営業所は、大手飲料メーカーさまの工場竣工に伴い、新工場専用の保管・配送拠点として開設しました。第1倉庫は2021年3月に開設。第2倉庫は、お客さまの工場の製造ライン拡張により、保管量を増やすために2024年3月に竣工しました。第2倉庫の2階にはレーザー誘導方式無人フォークリフト（AGF）6台を導入し、フロア全体を無人運用しているのが特徴です。

AGF導入の背景に、当社が推進する自動化、省力化の方針がありました。私が以前担当した北関東流通センター営業所では、三菱ロジスネクストさんのAGFの導入に携わり、自動化の実現性を具体的にイメージできたことが大きかったですね。社内では「費用対効果は出るのか」「運用ミスがあればお客さまに迷惑がかかる」という声もありましたが、10年先、20年先の未来を見据えたときに第2倉庫の開設時から導入すべきと考えました。

三菱ロジスネクストさんとはこれまでいろいろな製品の導入を通じて絶対的な信頼があります。今回も細かくシミュレーションをしたうえで、費用対効果や適切な導入台数を提案していただきました。また、レーザー誘導方式は床面工事が不要であることもメリットでした。そのなかで当社がこだわったのは、システムをあえてシンプルにして臨機応変に人がAGFの作業内容や走行ルートを指示できるようにしたこと。飲料物流の一番の繁忙期は7月と8月で、1日の中でも繁忙・閑散の時間帯があります。大量の製品を荷役する必要があるピーク時は、人がAGFの作業ルートを指示することで、AGFの処理スピードを上げることができます。このシステムのおかげで今年（2024年）の夏はオペレーターの増員が不要でした。私もちょくちょく現場に行くのですが、6台のAGFが隊列を組んで荷役している姿を見たときの感動は今でも覚えています。

三菱ロジスネクストさんはいろいな会社から引き合いがあると思いますが、今後も変わらず必要なときにすぐに対応していただけるようお願いいたします。



営業担当
ロジスネクスト関信越株式会社
松本支店 営業課 課長
たかやま つとむ
高山 努

